

### 小学校理科 移行措置案（4／24公表）からの修正点

太字は修正箇所

通し 番号	学年 該当年度		現行課程（移行措置案の別添2）	新課程（移行措置の参考資料の表）	修正理由
1	第4学年 (H21・22 年度)	移行 措置 案	B 物質とエネルギー (2) 金属, 水, 空気と温度 ア 温度と体積の変化 イ <b>暖まり方</b> の違い	A 物質・エネルギー (2) 金属, 水, 空気と温度 ア 温度と体積の変化 イ <b>暖まり方</b> の違い	表記の適正化
		告 示	B 物質とエネルギー (2) 金属, 水, 空気と温度 ア 温度と体積の変化 イ <b>温まり方</b> の違い	A 物質・エネルギー (2) 金属, 水, 空気と温度 ア 温度と体積の変化 イ <b>温まり方</b> の違い	
2	第6学年 (H21年 度)	移行 措置 案	C 地球と宇宙 (1) 土地のつくりと変化 ア 土地の構成物と地層の広がり イ 土地のでき方と化石 <b>ウ 土地の変化と火山</b> <b>エ 土地の変化と地震</b> (※ウ又はエのどちらかを課題選択)	B 生命・地球 (4) 土地のつくりと変化 ア 土地の構成物と地層の広がり イ 土地のでき方と化石 <b>ウ 火山や地震による土地の変化</b>	表記の適正化
		告 示	C 地球と宇宙 (1) 土地のつくりと変化 ア 土地の構成物と地層の広がり イ 土地のでき方と化石 <b>ウ 土地の変化と火山</b> <b>エ 土地の変化と地震</b> (※ウ又はエのどちらかを課題選択)	B 生命・地球 (4) 土地のつくりと変化 ア 土地の構成物と地層の広がり イ 土地のでき方と化石 <b>ウ 火山や地震による土地の変化</b>	

3	第6学年 (H22年度)	移行措置案	B 物質とエネルギー	A 物質・エネルギー (3) <b>てこの規則性</b> <u>ア てこのつり合いと重さ</u> <u>イ てこのつり合いの規則性</u> <u>ウ てこの利用</u>	表記の適正化
		告示	B 物質とエネルギー	A 物質・エネルギー (3) <b>てこの規則性</b> <u>ア てこのつり合いと重さ</u> <u>イ てこのつり合いの規則性</u> <u>ウ てこの利用</u>	
4	第6学年 (H22年度)	移行措置案	C 地球と宇宙 (1) 土地のつくりと変化 ア 土地の構成物と地層の広がり イ 土地のでき方と化石 <b>ウ 土地の変化と火山</b> <b>エ 土地の変化と地震</b> (※ウ又はエのどちらかを課題選択)	B 生命・地球 (4) 土地のつくりと変化 ア 土地の構成物と地層の広がり イ 土地のでき方と化石 <b>ウ 火山や地震による土地の変化</b>	表記の適正化
		告示	C 地球と宇宙 (1) 土地のつくりと変化 ア 土地の構成物と地層の広がり イ 土地のでき方と化石 <b>ウ 土地の変化と火山</b> <b>エ 土地の変化と地震</b> (※ウ又はエのどちらかを課題選択)	B 生命・地球 (4) 土地のつくりと変化 ア 土地の構成物と地層の広がり イ 土地のでき方と化石 <b>ウ 火山や地震による土地の変化</b>	

## 中学校数学 移行措置案（4 / 24公表）からの修正点

太字は修正箇所

通し 番号	学年 該当年度		現行課程（移行措置案の別添3）	新課程（移行措置の参考資料の表）	修正理由
5	第3学年 (H22・23 年度)	移行 措置 案	A 数と式 (3) 二次方程式 ア 二次方程式の必要性と解の意味 イ 簡単な二次方程式の解法と利用	A 数と式 (3) 二次方程式 ア 二次方程式の必要性と解の意味 イ 因数分解や平方の形に変形することによる 二次方程式の解法 ウ <b>解の公式を用いた二次方程式の解法</b> エ 二次方程式の活用	移行措置の範囲の適正化
		告 示	A 数と式 (3) 二次方程式 ア 二次方程式の必要性と解の意味 イ 簡単な二次方程式の解法と利用 【内取3(4)のうち「 <b>xの係数が偶数である簡単な例                      で、平方の形に変形して解く方法は知ることにとど                      める</b> 」及び「 <b>解の公式は取り扱わない</b> 」】	A 数と式 (3) 二次方程式 ア 二次方程式の必要性と解の意味 イ 因数分解や平方の形に変形することによる二 次方程式の解法 ウ <b>解の公式を用いた二次方程式の解法</b> エ 二次方程式の活用	

中学校理科 移行措置案（4／24公表）からの修正点

太字は修正箇所

通し 番号	学年 該当年度		現行課程（移行措置案の別添4）	新課程（移行措置の参考資料の表）	修正理由
6	第1学年 (平成21 ～23年 度)	移行 措置 案	第2分野 (1) 植物の生活と種類 <b>ウ 植物の仲間</b> <b>(7) 種子植物の仲間</b>	第2分野 (1) 植物の生活と種類 <b>ウ 植物の仲間</b> <b>(7) 種子植物の仲間</b> (イ) 種子をつくらない植物の仲間 【内取3(2)エ シダ植物やコケ植物が胞子をつくること】	移行措置の範囲の適正化
		告 示	第2分野 (1) 植物の生活と種類 <b>ウ 植物の仲間</b> <b>(7) 種子植物の仲間</b>	第2分野 (1) 植物の生活と種類 <b>ウ 植物の仲間</b> <b>(7) 種子植物の仲間</b> (イ) 種子をつくらない植物の仲間 【内取3(2)エ シダ植物やコケ植物が胞子をつくること】	
7	第1学年 (平成21 ～23年 度)	移行 措置 案	第1分野 (1) 身近な物理現象 イ 力と圧力 <b>(7) 力の働きと力のつり合い</b> [→ 後半は第3学年の(5)ア(7)に移行]  (イ) 圧力 【内取3(2)オ 水圧は扱わない】	第1分野 (1) 身近な物理現象 イ 力と圧力 <b>(7) 力の働き</b> 【内取3(2)エのうち「力とばねの伸び、重さと質量の違い」】 (イ) 圧力 <b>(水圧を含む)</b> 【内取3(2)オ 水圧、浮力】	移行措置の範囲の適正化
		告 示	第1分野 (1) 身近な物理現象 イ 力と圧力 <b>(7) 力の働きと力のつり合い</b> [→ 後半は第3学年の(5)ア(7)に移行]  (イ) 圧力 【内取3(2)オ 水圧は扱わない】	第1分野 (1) 身近な物理現象 イ 力と圧力 <b>(7) 力の働き</b> 【内取3(2)エ 力とばねの伸び、重さと質量の違い】 (イ) 圧力 <b>(水圧を含む)</b> 【内取3(2)オ 水圧、浮力】	

8	第1学年 (平成21 ~23年 度)	移行措置案	第1分野 (2) 身の回りの物質 ア 物質のすがた (7) 物質のすがた  (イ) 状態変化と体積変化	第1分野 (2) 身の回りの物質 ア 物質のすがた (7) 物質のすがた 【内取3(3)アのうち「代表的なプラスチックの性質」】	移行措置に抵触するはどめ 規定の適用を除外
		告示	第1分野 (2) 身の回りの物質 ア 物質のすがた (7) 物質のすがた 【内取3(3)アのうち「密度」に関する部分】  (イ) 状態変化と体積変化	第1分野 (2) 身の回りの物質 ア 物質のすがた (7) 物質のすがた 【内取3(3)アのうち「代表的なプラスチックの性質」】	
9	第2学年 (平成22・ 23年度)	移行措置案	第2分野 (3) 動物の生活と種類 イ 動物の仲間 (7) 動物の仲間	第2分野 (3) 動物の生活と生物の変遷 ウ 動物の仲間 (7) 脊椎動物の仲間 (イ) 無脊椎動物の仲間 【内取3(4)エ 節足動物や軟体動物の観察と脊椎動物との比較】	移行措置の範囲の適正化
		告示	第2分野 (3) 動物の生活と種類 イ 動物の仲間 (7) 動物の仲間	第2分野 (3) 動物の生活と生物の変遷 ウ 動物の仲間 (7) 脊椎動物の仲間 【内取3(4)ウ 脊椎動物の体の表面の違い等】 (イ) 無脊椎動物の仲間 【内取3(4)エ 節足動物や軟体動物の観察と脊椎動物との比較】	

10	第3学年 (平成23 年度)	移行措置案	第1分野 (5) 運動の規則性 ア 運動の規則性  (7) 運動の速さと向き (イ) 力と運動  <u>(ウ) エネルギーの変換と保存</u> [→ 新課程では、力学的エネルギーは(5)イ、それ以外は(7)ア(7)に分割]	第1分野 (5) 運動とエネルギー ア 運動の規則性 <u>(7) 力のつり合い</u> [→ 現行(1)イ(7)から一部移行] (イ) 運動の速さと向き (ウ) 力と <b>運動</b> イ 力学的エネルギー (7) 仕事とエネルギー 【内取3(6)ウ 仕事の原理】 <u>(イ) 力学的エネルギーの保存</u>	表記及び移行措置の範囲の 適正化
		告示	第1分野 (5) 運動の規則性 ア 運動の規則性  (7) 運動の速さと向き (イ) 力と運動  <u>(ウ) エネルギーの変換と保存</u> [→ 新課程では、力学的エネルギーは(5)イ、それ以外は(7)ア(7)に分割]	第1分野 (5) 運動とエネルギー ア 運動の規則性 <u>(7) 力のつり合い</u> [→ 現行(1)イ(7)から一部移行] (イ) 運動の速さと向き (ウ) 力と <b>運動</b> イ 力学的エネルギー (7) 仕事とエネルギー 【内取3(6)ウ 仕事の原理】 <u>(イ) 力学的エネルギーの保存</u> 【 <b>内取3(6)エ 摩擦</b> 】	
11	第3学年 (平成23 年度)	移行措置案	第2分野 (7) 自然と人間 イ 自然と人間 <u>(1分野との選択)</u>	第2分野 (7) 自然と人間 イ 自然の恵みと災害 <u>【内取3(8)ウ 地球規模でのプレートの動き、 地域の災害】</u> ウ <u>自然環境の保全と科学技術の利用</u> <u>【内取3(8)エ 1分野と総合的に扱う】</u>	移行措置の範囲の適正化
		告示	第2分野 (7) 自然と人間 イ 自然と人間 <u>(1分野との選択)</u>	第2分野 (7) 自然と人間 イ 自然の恵みと災害 <b>【内取3(8)ウ 地球規模でのプレートの動き、 地域の災害】</b> ウ <u>自然環境の保全と科学技術の利用</u> <u>【内取3(8)エ 1分野と総合的に扱う】</u>	

12	全学年 (各年度)	移行措置案	欄外 ※現行課程では、内取3(1)で指導順序を規定しているが、新課程では当該規定は削除。(以下同じ)	移行期間中の指導順序の扱いを明確化
		告示	欄外 ※現行課程では、 <b>両分野とも現行の内取3(1)</b> で指導順序を規定しているが、新課程では当該規定は削除。 <b>このため、移行期間中においても両分野とも現行の内取3(1)は適用除外とする。</b> (以下同じ)	

## 中学校総則 移行措置案（4 / 2 4 公表）からの修正点

太字は修正箇所

通し 番号	学年 該当年度		現行課程	新課程	修正理由
13	全学年 (各年度)	移行 措置 案	○ 新中学校学習指導要領（平成20年文部科学省告示第28号をいう。以下同じ。）の規定によるものとする。（総則の第2を除く。また、選択教科に関しては、現行の総則の規定による。）		移行期間中の選択教科 の時数減を踏まえ修正
		告 示	○ 新中学校学習指導要領（平成20年文部科学省告示第28号をいう。以下同じ。）の規定によるものとする。（総則の第2を除く。また、選択教科に関しては、現行の総則の規定（ <b>第3の3を除く</b> ）による。）		